

第39回全国豊かな海づくり大会秋田県実行委員会

第2回幹事会

日時 平成30年3月22日(木)
午前10時30分～
場所 県庁第二庁舎81会議室

次 第

1 開会

2 あいさつ

秋田県農林水産部長

3 報告事項

- (1) 第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会
大会テーマ及び大会キャラクターデザインについて
- (2) 平成29年度県予算事業の実績について
- (3) 平成30年度県予算事業の実施計画について

4 協議事項

- (1) 第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会基本計画について

5 その他

6 閉会

【配付資料】

大会テーマ及び大会キャラクターデザインの決定
平成29年度県予算事業の実績
平成30年度県予算事業の実施計画
第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会基本計画(案)

第39回全国豊かな海づくり大会秋田県実行委員会幹事会

出席者名簿

○委員

(敬称略)

所 属	職 名	氏 名	役 職	備 考
秋田県農林水産部	部 長	佐藤 博	幹事長	
秋田県漁業協同組合	専務理事	工藤 裕紀	副幹事長	
秋田県内水面漁業協同組合連合会	事務局長	沼倉 充	幹事	
秋田市産業振興部	部 長	本間 斗	幹事	代理：農業農村振興課長 斎藤 透
秋田県農林水産部	次 長	湯元 巖	幹事 (総務・接遇部会長)	
秋田県農林水産部	次 長	佐藤 暢芳	〃 (宿泊・輸送等部会長)	
秋田県農林水産部	参事(兼) 水産漁港課長	千葉 俊成	〃 (行事運営・広報部会長)	

○事務局

所 属	役 職	氏 名	備 考
秋田県農林水産部 水産漁港課	政策監(兼)班長	石井 公人	
	副主幹	渡部 雄二	
	副主幹	棚橋 恵里子	
	副主幹	安食 知佳子	
	主 査	戸嶋 郁子	
	主 任	土門 和彦	
	技 師	寺田 幹	

議事抄録（要点）

- 1 開催日時 平成30年3月22日（木） 10:30～11:30
- 2 開催場所 県庁第二庁舎8階81会議室
- 3 出席率 幹事7名 全員出席

4 議事内容（主な要点のみ）

- クリーンアップについてだが、市町村管理の漁港や一般港湾では行わないのか。
【事務局】大会開催までは、県管理の8漁港を対象。その後も、予算確保できれば、市町管理の漁港も取り組んでいきたい。一般港湾については、管理者に申し入れしたい。

■ 基本計画について

- 予算とスケジュールの部分だが、平成31年度予算のうち、開催市にも応分の負担が出てくるものと思うが、その負担額や納付方法等の方向性はどうか。
【事務局】現在検討中だが、開催市内での経済波及効果が顕著な部分について応分の負担をお願いしたいと考えている。前年度6月頃には、市内部で新規制度の設計・要求が始まると聞いているので、その前には御相談したい。
- 関連行事の場所は、具体的に決まっているか。
【事務局】開催市が会場となる場合は、本大会の会場となる秋田港か、秋田駅前を想定している。
- お手渡し対象の選定は、放流の方とは何が違うのか。
【事務局】時期的に大会開催日に放流できない種や内水面の種、放流場所が全県域にわたって行事会場だけで完結しない種などが対象となる。
- 関連行事の会場についてだが「秋田市ほか」となっているが…
【事務局】今までの会議で他の沿岸市町から、本大会の記念として何らかのイベントをやりたい旨の要望が出されているため、会場を「秋田市ほか」としている。
- リレー放流についてだが、来年3月からのサケ放流についても取り組んでもらいたい。
【事務局】来年度については、意向確認が終了し20箇所の予定は全て埋まっている状況。本年度同様、PRキャラバンとして取り組まさせていただきます、大会を啓発するPR物品等を配布して盛り上げていきたい。

第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会に関連する

平成29年度県予算事業の実績

1 実行委員会運営事業

9,945千円

(1) 実行委員会等の開催実績(予定含む)

- ・平成29年6月1日 第2回準備委員会：会場候補等基本構想案について
- ・平成29年6月27日 準備委員会第3回専門部会：会場候補案の絞り込み
- ・平成29年7月11日 第3回準備委員会：基本構想案の決定
- ・平成29年8月18日 第1回実行委員会：基本構想の成案化
- ・平成29年9月28日 実行委員会第1回幹事会：基本計画案について
- ・平成29年10月10日 実行委員会第1回専門部会：同上
- ・平成29年11月24日 実行委員会第2回専門部会：会場視察等
- ・平成29年12月22日 実行委員会第3回専門部会：大会テーマ等審査
- ・平成30年1月24日 実行委員会第4回専門部会：魚種選定、基本計画案協議
- ・平成30年3月9日 実行委員会第5回専門部会：基本計画案の決定
- ・平成30年3月22日 実行委員会第2回幹事会：同上
- (・平成30年4月26日 第2回実行委員会：基本計画の成案化)

(2) 水産業PR映像・冊子の制作

「平成28年度秋田の水産業PR映像等制作業務委託」

- ・契約金額 4,590千円
- ・契約期間 平成29年2月17日～平成30年3月16日
- ・受注者 株式会社秋田放送
- ・業務概要 秋田の地魚を四季毎に取り上げ、その生育環境や食文化、調理方法等について、動画とパンフレットを制作。

2 大会記念イベント開催事業

3,000千円

地魚の食文化や水産振興の取組、自然環境の保全等を全県に発信するとともに、大会の啓発普及を図るため、「地魚フェスティバル」を開催。

- ・事業主体 秋田の地魚消費拡大協議会
(県漁協、県ハタハタ加工産業振興協議会、しょつつる研究会、県)
※助成団体：県漁港漁場協会、(公財)秋田県市町村振興協会
- ・実施内容 平成29年11月11日～12日(土、日)、秋田駅周辺で開催
鮮魚・地魚加工品・特製さば缶販売、ふるまい鍋、試食、展示(大会PR、環境保全等)、ステージイベント(お魚クイズ、トークショー等)
- ・総事業費 5,750千円(うち県費3,000千円)

3 県民総合リレー放流事業

1,968千円

つくり育てる漁業を推進するため、海面及び内水面で県民参加型の種苗放流を実施。

- ・実施主体 漁協、商工会、老人会等地域活動団体 9団体
- ・実施時期 6月～10月順次開催
- ・実施場所 大館市、北秋田市、八峰町、藤里町、秋田市、由利本荘市、大仙市、横手市 計10箇所
- ・実施内容 種苗の購入(県)及び放流イベント開催支援(PR物品等配布)

【実績】

実施月日	実施主体	参加者	放流魚種
6/2	J F 子吉川水系	小学生等 31人	アユ
6/4	旭川清流の会	親子ほか 13人	アユ
6/6	J F 粕毛	幼稚園児等 18人	アユ
6/9	寺田寿会	老人会 29人	アユ
6/11	J F 横手川	親子等 50人	アユ
6/12	J F 比内町	養護学校生徒等 28人	アユ
8/5	白神八峰商工会	一般 500人	アワビ
8/6	ラブリバーネット北秋田	親子等 20人	アユ
10/1	J F 仙北西部	一般・小学生 200人	イワナ
10/11	J F 子吉川水系	小学生・教諭 24人	コイ
計		865人	

4 安全で魅力ある漁港づくり推進事業

6,000 千円

(1) にかほ市平沢漁港のクリーンアップ

- ・実施者 県（漁業者、漁協、周辺企業・自治会、市と協働）
- ・実施内容 放置されている漁網やロープ等の清掃・産廃処分

(2) 平沢漁港海岸の漂着物・堆積漂砂混合物の調査

- ・業務内容 漁港海岸に積み上げられている漂着物・堆積漂砂混合物の土質等調査（分別・処分方法や有効利用の可能性を検討するため）

(3) 金浦漁港・象潟漁港の不法投棄未然防止対策

- ・業務内容 不法投棄を防ぐための照明具等設置

5 その他、広報活動等

(1) メディア等広報

行政広報誌や新聞、ラジオ等を活用した広報展開のほか、PR用のぼり旗やポケットティッシュを配布するなど、様々な啓発普及を展開。

- ・実施内容 行政広報誌掲載5回、県政ラジオ広報2回、県庁舎看板広報1回
企業協賛PR3回（お菓子動画・包装袋でのPR、カレンダー掲示）

(2) 他機関主催の協賛イベントでの大会PR

県内イベントで22回、県外イベントで9回、計31回の「ヤドカリ」PRを実施。PR方法は、出展ブースでポスターとのぼり旗を掲出、大会PRチラシや水産関係パンフレット、ティッシュペーパー等を配付。

- ・実施内容 県内22回、県外9回 計31回（約16,000人に配布）

第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会に関連する

平成30年度県予算事業の実施計画

- 1 実行委員会運営事業 747千円
実行委員会や幹事会、専門部会を運営し、本大会に向けた準備を進める。
- 2 広報宣伝事業 7,880千円
県内外で大会の機運醸成を図るため、ホームページの制作等を行う。
・ 大会専用ホームページの制作
・ 大会キャラクター着ぐるみやPRグッズ等の作成
- 3 県民参加推進事業 12,704千円
ア 地魚フェスティバルの開催
大会の機運醸成を図るため、「地魚フェスティバル2018あきた」（仮称）を開催する。
（ア）実施主体 秋田の地魚消費拡大協議会
（イ）実施概要 11月頃、秋田駅前等（予定）
（ウ）実施内容 秋田の地魚への理解と関心を深めてもらうための企画展示・試食・販売等
イ 県民総合リレー放流事業
沿岸及び河川流域の市町村が行う県民参加型の放流イベントの開催を支援する。（20カ所）
ウ 漁港のクリーンアップ活動
大会で視察が予定される漁港において、漁業者や地域住民等と協働してクリーンアップ活動を実施する。
（ア）実施場所 椿漁港・北浦漁港・畠漁港（男鹿市）
（イ）実施時期 6～12月頃
（ウ）実施内容 魚網・ロープ等放置漁具の分別・集積、産廃処理等
- 4 大会実施事業 22,247千円
実施計画の策定や1年前プレイベントの開催等を行う。
ア 実施計画の策定
本大会の詳細内容を定めた実施計画を策定する。
イ 1年前プレイベントの開催
（ア）実施場所 秋田港（飯島地区及び道の駅周辺）
（イ）実施時期 9～10月頃（予定）
（ウ）実施内容 本大会を契機とした水産振興等への理解と関心を深めてもらうためのセレモニー、企画展示、水産物等の販売、稚魚放流等
- 5 大会開催準備事業 8,724千円
水産庁等関係機関との調整や先催県の調査、PRなど

「第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会」基本計画(案)の骨子

I 全体概要

1 基本理念

秋田県の特徴ある水産物や農山漁村地域の環境・歴史・文化などの魅力を全国に広く発信するとともに、水産業の振興と観光との融合による地域の活性化を図る。

2 基本方針

- つくり育てる漁業を中心とした水産業の振興と地域の活性化
- 豊かな自然環境の保全・利活用
- 観光と水産との融合
- 秋田の魅力とまごころあふれる大会のアピール

II 大会計画

1 行事計画

- 式典行事 (県立武道館)
海の大切さと水産振興の取組を全国に発信 (団体表彰、決意表明、大会決議等)
※ お手渡し魚種等：ハタハタ、サクラマス、エンゾアワビ、ワカメ
- 海上歓迎・放流行事 (秋田港)
漁法紹介とつくり育てる漁業をPR (漁船等パレード、稚魚放流等)
※ 放流魚種：マダイ、トラフグ
- 歓迎レセプション
魚介類をはじめとする本県の農林水産物を豊富に使った食でおもてなし等
- 関連行事 (秋田市ほか)
本県の魅力を発信し秋田らしいおもてなしの心で歓迎
(ステージイベント、企画展示、物販等、大会中継、作文・絵画等コンクール優秀作品の展示等)

2 運営計画

来場者の安全を確保し環境負荷を軽減しながら、県民との協働により来場者の心に残る運営に努めるとともに、関係機関等と連携し事故の防止や非常時の迅速な対応を行う。

3 宿泊・輸送等の基本方針

- 宿泊
大会参加者の利便性や都道府県別、参加の区分等に配慮して、旅館業法許可等の関係法令を遵守している秋田市内のホテル・旅館に宿泊。宿泊施設の内容を勘案し段階別料金を設定し、食事と提供弁当等は、衛生的で地元食材を取り入れた郷土色豊かなものとなるよう配慮する。
- 輸送
大会当日の招待者輸送は、宿泊施設又は指定集地から各会場までバス輸送とする。駐車場は、可能な限り確保し効率的な利活用ができるようにする。交通安全と混雑緩和のため、必要に応じ交通規制等の措置を講じる。

4 荒天時等の計画

荒天時や地震、突発事案等に迅速・適切に対応するため、气象台からの注意報・警報の発令状況を勘案しながら、行事の変更や中止等の要否を協議する判定会議を設置する。

III 機運醸成

- 1年前プレイベント
平成30年秋、秋田市内
稚魚放流、展示・物販等
- 地魚フェスティバル
毎年1回、海沿岸市町村
県産魚介類の認知向上と消費拡大を図る
- 豊かな海づくりキョウラバン
通年、県内全域
大規模イベントと連携し大会PR活動
- 全県総合リレー放流
毎年4～10月頃、県内全域
子ども等による稚魚の放流
- PR映像・パンフレット制作
P R映像、パンフレット制作
本県の水産業や食文化、伝統料理等を紹介する動画と冊子を制作
- 広報誌、行政情報番組等による広報PR
- 大会キョウラバン着ぐるみイベント出演
- 大会グッズ配布による認知度向上

IV 予算

予算と取組内容

- 平成28年度
準備委員会設立、PR映像・パンフレット制作
- 平成29年度
基本構想・基本計画作成、リレー放流・地魚フェスティバル開催、大会テーママ等募集・選定
- 平成30年度
実施計画作成、実施本部設立、プレ大会開催、大会運営業務発注
- 平成31年度
実施マニキュアル作成、100日前プレ大会開催、リハーサル実施、本大会開催